



薬を正しく服用するために

かかりつけ薬剤師・ 薬局は決まっていますか

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220

なんだってー！

ササッ

よし！
これからのことも考えて
今のうちに薬に関することを
勉強しておこう！
検索、検索。

最近、寒くなって
きて風邪をひいた
みたい。
普段飲んでいる
ほかの薬と一緒に
風邪薬も
飲んでしまおう。

本当だ！
これを読んで
正しい知識を
つけて
おこう！

待って
待って。
検索しなくても
下に良い記事が
書いてあるよ。

ちょっと待ったー！

薬を混ぜて飲むのは
危険！
飲みあわせが悪いと
副作用が出たり、
効果が薄くなったり
してしまうよ！

お薬手帳を活用しましょう

お薬手帳とは、使っている薬を記録するための手帳です。いつ、どこで、どんなお薬を処方してもらったかを記録します。

薬局では、薬剤師がお薬手帳をみて、副作用や飲み合わせ、薬の量が適切かどうかなどをチェックします。また、薬剤師が薬の名前や飲み方を記入します。ご自身でも、服用後の体調変化があったときや自分で購入した薬などを飲んだ時に記入するようにしましょう。

お薬手帳は病院や薬局に必ず持っていき、薬局ごとに持つのではなく、1冊にまとめましょう。

「かかりつけ」を選びましょう

身近な薬局で信頼できる薬剤師を「かかりつけ薬剤師・薬局」として決めましょう。

かかりつけ薬剤師を決めておけば、服薬状況やアレルギーなどの情報を把握して、適切な管理・指導を行ってくれます。また、市販薬の購入の際にも安心して相談することができます。

複数の病院から処方せんをもらった場合でも、できるだけ自分の選んだ1カ所の薬局に処方せんを持っていきましょう。

かかりつけ薬剤師・薬局のメリット

- 在宅での療養が必要になった場合、薬の管理・説明を受けることができます。また、飲み忘れや飲み残しを防ぐことができます。
- 同じような薬が重複していないか、飲み合わせの悪い薬が出されていないかをチェックします。